馬洗川

令和６年１１月号　第３５１号（R6.11.21　No.14）

TEL:0824-62-2217　FAX:0824-63-1921
E - mail：tohkaichi-e@school.miyoshi.hiroshima.jp
URL：http://www.school.miyoshi.hiroshima.jp/elementary/tokaichi/

PTA教育講演会「なりたい自分になる」しつもんメンタルトレーニング
講師：藤代　圭一　様

「この形、どちらが気になりますか？左側の方が気になる人が多いですよね。人は、欠けているところに目がいきやすいのです。上手くいっているところには、目が向きにくい。意識して目を向けていくことが大切です。スポーツで言えば、こうすることによってチームの雰囲気やチームワークがよくなったりします。」

１１月１５日（金）、藤代　圭一　様をご講師に迎え、教育講演会を開催しました。藤代さんは、現在アイスホッケーの代表チームのコーチを務める等、スポーツに長い間携わっている経験を踏まえながら、子どもたちに分かりやすく話をしてくださいました。

大人にとっても、物事のとらえ方、子どもたちへの声のかけ方等、自分を見つめ直すきっかけとなるお話でした。

WHY？（なんで？）⇒言い訳を生みやすい
HOW？（どのようにすれば？）⇒アイデアを生みやすい

自分が一番大切にしているものは何かなんて考えたことなかったけど、今日わかりました。

これは、「効果的な質問と尋問の違い」ということで話をされた内容です。子どもたちの中で一番多かった感想は、この言葉についてでした。

「何で」と言うのを「次どうしたらいいかな？」と言い換えるだけで、考えが変わるんだなと思いました。

私は、ピアノを習っているけど、ピアノの練習をしている時に藤代さんが言っていた「悪い反省会」をしていたんじゃないかなと思いました。言い方ひとつで人の気持ちや考え方が変わると思いました。

自分の考えだけではなく、他の人の考えも聞いて、その人の大切にしていることが分かったから、ぼくも大切にしたいと思いました。

お母さんに「何で？」とよく言われて、いつも言い訳を言ってしまっているので、「WHY」は言い訳を生み出すという話は「なるほど！」と思いました。私も習い事で悪いところを考えてしまうので、いいことを考えたいです。

すごく時間が経つのがはやかったです。自分らしさを発見することができたし、自分のことをもっともっと知りたくなるような時間で、とても良かったです。

考えることの楽しさが少しわかった気がします。「かなうとしたら」などの質問は考えるのが楽しかったです。

良い質問を悪い質問を教えてもらった時、「たしかに～」と思うことがたくさんありました。相手も嫌な気持ちになる悪い質問ではなく、お互いに嫌な気持ちにならず次へと成長していくことができる質問を言いたいです。

５年生：模擬避難所開設

５年生は、総合的な学習の時間に誰もが幸せに暮らせるまちづくりとして防災をテーマに学習を進めてきました。

そして、１１月１３日（水）。保護者の方、民生委員さん、十日市保育所年長児さんをお招きして、模擬避難所を開設しました。避難者役の方に、案内をしたり、避難所の説明をしたり、積極的に声をかけ、みなさんと一緒に防災について考えることができました。

１０月には、防災士の田原さん、中岡さんに自分たちが考える模擬避難所について提案し、アドバイスをいただきました。

手作りの将棋コーナー

相談所では、いろいろな相談を受けました。「ペットを連れてきたけどどうしたらいいか。」「話し声がうるさいと言われたのだけど・・。」子どもたちが適切に答えてくれたと相談者も喜ばれていました。

骨折した時、新聞やビニール袋など身近にあるものを使って処置をする方法の動画をつくって流しました。

受付から誘導がスムーズにいくように担当者を決めていました。

段ボールベッドに横になってもらったり、車いすに乗っていただいて避難所を案内したり、避難所には年齢や身体の状況等が違う多くの人が集まることを想定して、何が必要かを考えました。